平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	5	ー	37

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	障がい者計画策定事業					
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		社会福祉係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	山 崎 佳 之		氏名	渡 部 憲 一
事業の概要	市町村に策定が義務付けられている障害者基本法に基づく「障害者計画」及び障害者自立支援法に基づく「障害福祉計画」を一体的に作成し、障がい者施策に関する将来的な方向性と障害福祉サービスの見込量や見込量確保のための方策を定める。 また、計画策定にあたっては、町内障がい者に対するニーズ調査や、計画策定に専門的な知識やノウハウが必要とされることから専門業者へ委託する。			全体計画 ／期間限定複数年度 （平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	5,264 千円
					事業費計	5,264 千円
実施方法	■ 直営		□ 民間委託	■ その他 （ 株式会社ぎょうせい ）		
第５期 総合計画（前期）	■ 登載事業		□ 非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～			
	基本施策	9	障がい者支援の充実			
	単位施策	1	自立支援対策の推進			
	事務事業の種類	■	自治事務	□	法定受託事務	
	その他計画・根拠等		障害者基本法、障害者自立支援法			

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	2,260 千円	千円
	合計	千円	千円	千円	2,260 千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	障がい者計画	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	障がいに関わる課題を把握し計画に反映させる必要がある。	策定計画数及び策定委員会開催数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	障がい者施策の基本的考え方や方向性を明らかにし、具体的な指針を定める。	① 策定計画数	目標年度	平成23年度
			目標値	1 計画
			実績値	1 計画
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	障がい者が、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせる町づくりを推進するための指針とする。	② 策定委員会開催数	目標年度	平成23年度
			目標値	4 回
			実績値	2 回
			達成度	50 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
①策定委員会の開催	前回の計画書及び今計画に関するたたき台を基に、２回の策定委員会を開催し、内容検討を行った。
②専門業者への業務委託	策定委員会の結果に基づき、計画策定業務を委託した。

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	障害者基本法及び障害者自立支援法に基づく法定計画で、町が具体的に取り組むべき施策の方針及びサービス量の見込等を定めるものである。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	今後の障がい福祉向上のためと障がい者が地域において安心して暮らしていけるよう、具体的な指標を定めた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	本町の各種計画に携わった実績のある専門業者に策定業務を委託したことで、策定委員会の結果と蓄積されたデータやノウハウを活用した策定内容となった。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある ■受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	町が策定する計画であり、負担を求めるものではない。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
策定委員会の結果を踏まえ、本町の各種計画に携わった実績のある専門業者に策定業務を委託したことで、総合計画等とも調和の保たれた内容と判断できる。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
障害者総合支援法（仮称）の制定に向けた障害者自立支援法の改廃等、国の動向に注意を払いながら、計画の進捗管理を行っていく。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）